

平成30年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
  - (2) 解答用紙は、3枚あります。3枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
  - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
  - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【民法】 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入しなさい。

第1問 次の文章の（ ）に適切な語句を記入しなさい。(各4点)

- (1) 私的自治とは、行為者は自分の意思に基づいて自分の経済取引行為を自由にするのであるから、そのためには、その人が（ ）能力を持っていることを必要とする。
- (2) 契約の成立には、申込と承諾とが合致することが必要であるが、タクシーが空車表示をだして走行しているのは（ ）である。
- (3) 成年被後見人が、成年後見人の同意を得て行った行為は、単独で行うことが（ ）。
- (4) （ ）条の「第三者」を「喰うか喰われるかに関係にある」とか、「登記の欠缺を主張するに正当な利益を有する者」とすることで、甲から土地の所有権を譲り受けた乙はこの土地を不法占拠する丙に対して登記なくして、所有権に基づく明け渡し請求ができることになる。
- (5) （ ）の法的性質は、債権の売買であるとされている。したがって、債権の譲受人が債務者に対して、その権利行使をするためには訴状で具体的にその主張をしなければならない。
- (6) 組合財産は、組合員の共有とされるが分割請求権が認められないことから、このような共有関係を（ ）という。
- (7) 相続人が被相続人に対して虐待等を行った場合に、被相続人は、（ ）という手続をとることでその者の相続権を奪うことができる。
- (8) 債務者が履行をしない場合に、強制執行が用いられるが、幼児の引渡の場合には（ ）の方法がとられる。
- (9) 賃貸人が一方的に賃料の値上げを申し出た。賃借人が従前の賃料の支払いをしようとしたが、これを受領しない場合、賃借人は（ ）することでその支払を免れることが出来る。
- (10) 賃貸中の建物の所有権が譲渡された場合、賃借人が預託した（ ）は建物所有権の移転に伴って移転するとされる。これは（ ）の性質が債務の担保であることから目的物の所有権の移転と関係で随伴性があると説明される。

## 第2問

次の問題（１）（２）について、解答用紙に15行以内で説明しなさい。（各20点）

- （１） 判例は、金銭の所有権は、特段の事由のない限り占有者と一致しているとするのは何故か。では、騙取金銭による弁済で受領者に悪意または重大な過失がある場合に、被騙取者との関係で不当利得となるとしたのはどうしてか。
- （２） 内縁関係の法的性質を説明した上で、甲と乙が内縁関係にあるとして、甲及び乙が生存中の財産的清算と、甲が死亡した場合の財産的清算が考えられるが、乙はどのような主張が出来るか。

## 第3問

次は、専修大学法科大学院教授Aと、同大学院生Bとの会話である。会話中のAの質問に対して、Bがどのような解答をするかを答えなさい（現行法で書きなさい）。

A 今日、錯誤と詐欺との関係について考えてみましょう。

事例1「甲は、乙を真冬の北海道に連れて行き、本来は沼地で宅地として利用できないが一面は雪で覆われており、平地のように見えていることから、この土地には近い将来道路がとおり利用価値が上がるがこの情報は開示されていないので、今なら大分安く買うことが出来ると説明した。これを信用した乙は、無価値の土地を500万円で購入して、甲に現金を支払ってこの土地の所有権を得た。」この場合、乙は甲に対してどのような法的主張が出来るかでしょうか。

B 詐欺と錯誤が考えられます。

A では、それぞれの法的主張をする際に問題となる点を可能な限り挙げて、どのように考えるかを説明して下さい。

B 解答1 （20点）

A では、次に事案2について考えてみましょう

「Yは、XからX所有の土地を代金の支払の能力もその意思もないのに、これがあるかのように装い、通常であれば5000万円であるが、7000万円という額の提示をした。ただし、Yは銀行から融資を受けるためには先に土地の名義を移転して欲しいと申し出て、Xはこれに応じた。その後、Yはこの土地をZに転売した。」

この場合には、XとZとの関係はどのようになるか説明して下さい。なお、反対説の検討もして下さい。

B 解答2 （20点）

以上